



国際ロータリー2620地区 長泉ロータリークラブ

週報



発行/会長:前島 大一 幹事:市川 明宏
例会/毎週水曜日 12:30~13:30
例会場/財米山記念館ホール
事務局:〒411-0941

静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1



TEL・FAX: (055) 988 - 3070

E-mail: n-jimu@nagaizumi.com

<https://www.nagaizumi.com/>

長泉ロータリークラブ 会長あいさつ
会長 前島 大一 MAESHIMA DAIICHI

本日は地区公共イメージ向上委員会の
若林委員長を卓話にお迎えして、三島
クラブとの合同例会です。

皆さんお久しぶりです。一部の方は秋季
例祭でお見受けしましたが、こうして
お元気なお姿に接しご同慶の至りです。
政府もリスクの少ない環境ならマスクを
外してとか、所謂インバウンドの受け入れも制限を外して
個人も入国できるようになり、民需を促すことは景気に結
構なことです。

個人旅行にも助成措置が出て、さあどこでも出かけて下さ
いということですが、福島県の会津若松から新潟県の魚沼
まで、135kmの只見線というJRの路線があります。
2011年に豪雨で損傷を受け不通となり、それ以来という
ことで、この10月1日に再開しました。

山間を抜ける風光明媚な路線ということで、所謂インスタ
映えで人気復活が期待されます。個人的にも行ってみたい
所です。

皆さんもそれぞれにご計画かと存じます。暗い夜道に灯り
が少しづつ灯り始めた気がします。



出席報告(10月12日 wed)

会員総数	出席計算に 用いた会員数	出席	出席率
24名	22名	18名	86.36%



財団法人 米山記念館外観

第1749回 例会 2022.10.12 wed

幹事報告

幹事 市川 明宏 AKIHIRO ICHIKAWA

①RIから

*ロータリーの友(10月号)が届いています。

②2620地区(ガバナー、ガバナーエレクト事務所)から

③第2グループ(ガバナー、ガバナー補佐 他)から

④他クラブから

*10月16日(移動例会)福祉健康まつりの連絡を
お願いできればと思います。

集合時間:AM8:00、駐車場は役場駐車場を利用
してください。

活動時間:8:30~12:00となります

内容:ポリオ募金、ロータリークラブ周知啓発活動。

⑤長泉RC関係

*長泉町福祉健康まつりのお知らせ
(詳細はメールでも送ります。)

*長泉町「こどもの居場所づくり」

立ち上げ講座のお知らせ

*第11回長泉なでしこサッカー大会要項

再回覧

回覧

再回覧

⑥外部組織から

⑦米山記念館奨学会から



左から

・山本雅弘 幹事
・佐藤浩美 会長
・若林秀典 様
・杉山茂範 様

スマイルボックス😊

- ・市川 明宏
若林委員長本日は卓話よろしくお願いします。
- ・成田 伸行
先週はお休み頂きました。
若林委員長卓話楽しみにしています。
- ・前島 大一
若林委員長本日は卓話をありがとうございます
三島クラブの皆様お久しぶりです。



【卓話】地区より派遣

- ・公共イメージ向上委員会委員長 若林秀典 様
- ・公共イメージ向上委員会委員 杉山茂範 様

「公共イメージと認知度向上の重要性」

地区公共イメージ向上委員会委員長 藤枝南RC 若林 秀典

国際ロータリー第2620地区の公共イメージ向上委員会は2017～2018年度に、広報委員会から名称変更になりました。当時は変更の意味も意義もわかりませんでしたが、委員長になっていきさつを調べてみますとRIが2010年に列挙した3つの優先項目に

- 1) クラブのサポートの強化
- 2) 人道的奉仕の重点化と支援
- 3) 公共イメージと認知度の向上

とあります。この3つの優先項目は、スパイラル効果があります。

人道的奉仕を行う→公共イメージが向上する→支援者が増え、会員増強にもつながる(クラブのサポートと強化)→人道的奉仕がさらに進む、まさに正のスパイラル効果です。このスパイラルに必要なことが、公共イメージと認知度向上のそのものです。とありました。確かに良いイメージのところには人が集まっていくと考えられます。つまり、広報するだけではなく、イメージを向上することにより認知度を上げようというのが名称変更の目的だったのです。

第2530地区(福島県中心2022年)の認知度調査では、名前だけ認知しているのは55%、内容をどのくらい知っているかを見てみると約半数は全く知らないということです。周囲の人たちが持つイメージは「富裕層、企業役員、歴史がある、年寄、社交クラブ、男性等」で、なるほどと思う部分もありますがもっと知ってほしいと思う気持ちもあります。知っている年齢層は高いので、SNSなどのソーシャルメディアからの認知経路は低かったようです。それではロータリアンが他の奉仕団体をどのくらい知っているのでしょうか？

ライオンズ、ボーイスカウト、ガールスカウトなどの名前は知っていますが内容はどうでしょう？ソロプチミスト、キワニス、ゾンタクラブ、ワイズメンズクラブ国際協会となると名前すら聞いたことがないという方も多いのではないのでしょうか？なかなか団体名を一般の方に覚えてもらうことはハードルが高いというのが実感です。

浅原ガバナーの方針は、できるだけお金をかけないで行うということです。1クラブ1記事を新聞に取り上げられるような特徴のある奉仕活動をやって下さいということでした。しかし、メディア関係者の方に何うと「公共性の観点から、ロータリーばかりで紙面を埋めることはできかねます。」という返事でした。確かに大きなクラブは質、量とも豊富で対応できるかもしれませんが小さいクラブが背伸びしてやるのも大変です。個々のクラブの事業は努力目標にして、複数のクラブでやった事業も可となりました。実際、マスメディアが取り上げてインパクトが高かったのが、安間バスターガバナーが新型コロナのはやり始めた時にやったフェイスシールドの寄贈と静岡クラブがウクライナ戦争の初期に募金活動を行ったことでした。時勢に即した速やかな対応でした。

今後は各クラブが近隣のクラブと協力し、会員の皆様には様々なアイデアを出していただき、身の丈に合った奉仕事業をやっていただければと思います。ロータリアン一人ひとりが広告塔になってまず、知人、友人に名前、クラブの活動や内容を知ってもらうことです。認知経路もこのことが最上位になっています。また、ロータリーバッジなどのロゴマークをできるだけ目目に付くようにつけていただくように期待します。会員皆様の地道な協力を希望してやみません。

